

申請書受付

6日(土)午後5時まで

提出時、署名欄を再度確認してください

3傷以上の負傷原因は、負傷原因欄に各傷病毎記入してください



柔道大会変更・中止のお知らせ

少年少女柔道大会・少年柔道形競技会
6月20日(日)青山記念武道館(半田市)で変更開催。

専門学校柔道大会・愛整柔道大会は
新型コロナウイルス感染症予防のため中止。

第49回医療功労賞受賞

「第49回医療功労賞」(読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、損保ジャパン、アインホールディングス協賛)の受賞者に山田泰嗣会員(大曾根支部)が選出された。本年度は、柔道整復師1名、理学療法士1名の受賞であった。

山田会員は、1975年4月柔道整復師の国家資格を得て以来40年間に渡り日本の伝統医療である柔道整復業(接骨院)に従事し、日々の日常生活や学校・登下校時、交通事故等で発生した骨折・脱臼を手術することなく徒手整復を施し、昔ながらの副木を当てて行なう処置をはじめ捻挫・打撲の怪我にも柔道整復術後に自分で調べて練習して作った特別の湿布薬を患部に貼り付けて、綿包帯を巻くなどして早期に回復するよう患者さんに寄り添った接骨院。また休日でも在宅していただければ対応し地域住民からの信頼は厚く、地元では無くてはならない接骨院として住民の健康維持増進に寄与し地域医療の一翼を担い多大な貢献をされた。

また1979年9月より山田柔道所を開設し、以来41年間に渡り、ほねつぎ道場として少年少女の礼儀作法、いじめない・いじめられない等の精神修養やケガをしない、させない身体作り、受身や投げ方など子供たちの健全育成にも力を注がれた。

地道に接骨院40年



柔道整復師
山田泰嗣さん 76

捻挫や骨折、脱臼などを「地道に」と謙虚に語る。施術する柔道整復師として地道に接骨院を開いて約40年。休日でも在宅していただければ人が対応するなどは、地域医療に貢献してきた。受賞の知らせに「大したことではない。柔道は一生の事業になる」と考えながら、2代目として後を継ぐ予定だ。

で半世紀以上続けてきた。大学卒業後、一般企業に就職するが、柔道整復師になつていた友人に影響を受けて、自身もその道に進んだ。「何よりも応急処置で済ませることが魅力だ」という過去には肩を脱臼した男性が来院し、施術するとすぐ元通りになり、「こんなに早く治ったのは初めて」と驚かれたことが印象に残っている。

読売新聞 令和3年1月31日掲載より

介護ステーションからのお知らせ

日ごろは愛柔整介護ステーションに対しご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、会員の皆様にご紹介をいただき、私を含めて2名の常勤介護支援専門員と6名の非常勤介護支援専門員で頑張っております。今後もご質問やご希望に添えますようにお手伝いをさせていただきますので、今まで以上に会員の皆様から利用者様のご紹介をお願い致します。何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

連絡は、下記電話番号へお願いします。

管理者 平岩 治郎

052-602-6660 (直通)

